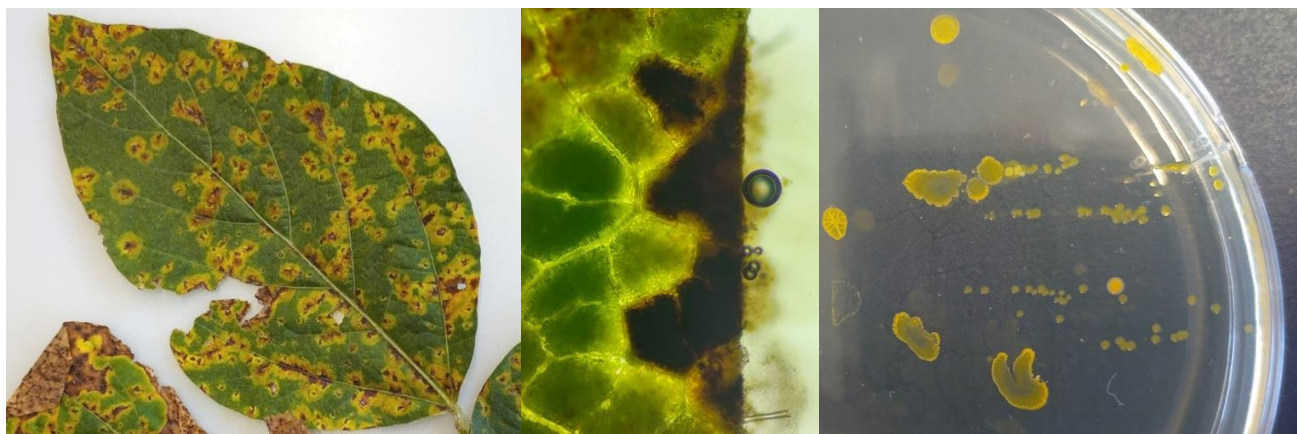
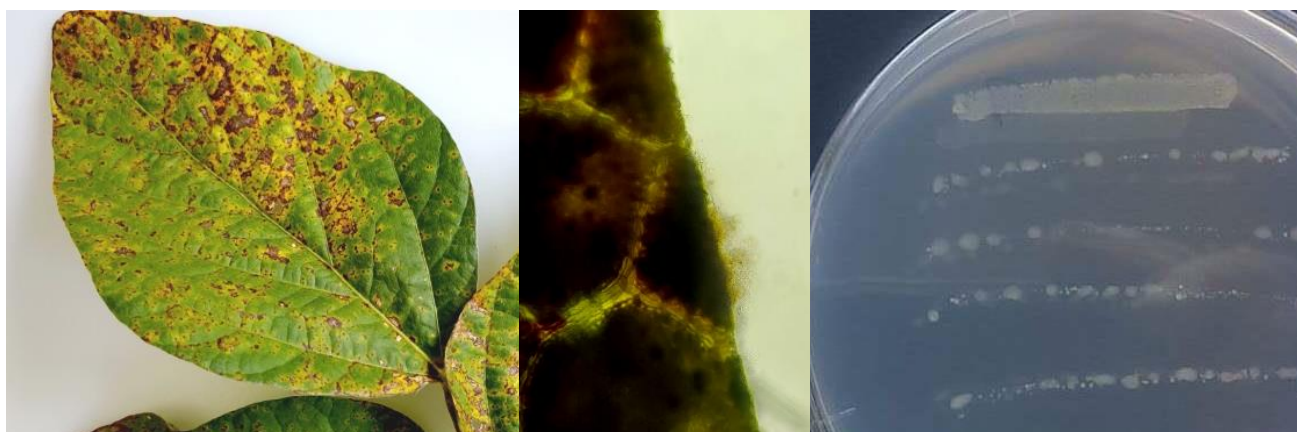


ダイズ葉の病害



1. **ダイズ葉焼病**：黄変部に囲まれた褐色病斑は、先に黄色微斑点として発生し、拡大するに伴って中心に褐点が現れます。斑点細菌病との区別が付きにくいので、病斑の褐変部から流出する細菌泥を培養して確認します。コロニーは黄色です。



2. **ダイズ斑点細菌病**：褐色小斑点の周囲に黄色のハローを伴います。先に褐点が現れ、後にハローを纏います。葉焼病との診断に迷う場合は、褐変部から流出してくる細菌泥を培養して確認します。コロニーは白色です。



3. **ダイズべと病**：主に葉、種子にも感染します。葉表に黄色小斑点を生じ、次第に拡大し、葉脈に囲まれた多角形病斑になります。葉裏に生ずる白色のカビを顕微鏡で観察すると、樹枝状に分歧した分生子柄と、球形の分生子が確認できます。上位葉に葉焼病や斑点細菌病が目立っていても、下位葉にべと病が発生していることがあります。種子への感染に注意してください。